

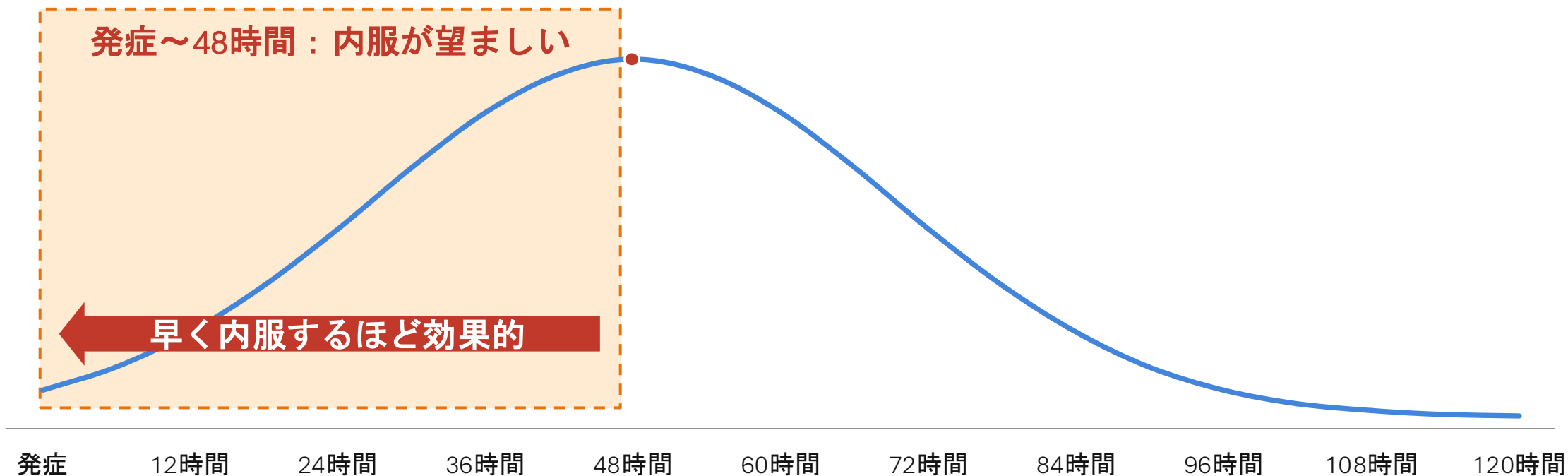
インフルエンザと新型コロナ同時検査における

抗原検査と核酸同定検査（ID NOW）の比較

項目	抗原検査	核酸同定検査（ID NOW）
検査の特徴	広く普及している一般的な検査	PCRと同等の精度を持つ最新の遺伝子検査
発症12時間未満 （熱が出てすぐ）の精度	【感度】 約35%～60%（見落としが多い） 【特異度】 約99%～100%	【感度】 約93%～95%以上（しっかり検出） 【特異度】 約98%～100%
発症12時間～24時間未満 （半日～1日未満）の精度	【感度】 約70%～80%（徐々に上昇） 【特異度】 約99%～100%	【感度】 約95%以上（極めて高い精度） 【特異度】 約98%～100%
発症24時間以上 （1日以上経過）の精度	【感度】 約85%～95%（最も正確な時期） 【特異度】 約99%～100%	【感度】 約95%以上（極めて高い精度） 【特異度】 約98%～100%
結果が出る時間	約15分	約5分～20分
おすすめの時期	発熱から24時間以上経っている	発熱からすぐ（24時間未満）でもOK
3割負担の総額目安	約4,000円～4,500円	約6,000円～6,500円

抗インフルエンザ薬は「早く飲む」ほど効く

発症から48時間以内が内服のゴールデンタイム！ 早期内服によりウイルスが少ないうちに抑えられる



抗インフルエンザ薬は「発症から48時間以内」に内服開始を
早期の内服ほど、ウイルス量が少ないうちに増殖が抑えられます！

流行期の発熱は、早めの受診を

インフルエンザ・新型コロナの流行時期に発熱したら、早めの受診をおすすめします
受診が早いほど、正確な診断と適切な治療につながります

1

早期診断

発熱してすぐでも、精度の高い検査
機器（ID NOW）で判定できます

2

早期治療

抗インフルエンザ薬は発症48時間以
内の内服が効果的です

3

周囲を守る

早く診断がつけば、家族や職場への
感染拡大を防げます

高熱・息苦しさ・持病のある方は、早めにご相談ください

抗インフルエンザ薬 治療効果（治癒期間）と料金の比較

薬剤名	薬剤料金 (3割)	症状が治まるまでの時間 (治癒期間の目安)	解熱にかかる時間とウイルスの特徴
イナビル (1回吸入)	約890円	約73時間 (約3日)	タミフルと同等の治療効果 ウイルス排出を抑えるスピードが早い
ゾフルーザ (1回服用)	約1,460円 (40kg以上80kg未 満の場合)	約54～70時間 (約2～2.5日)	タミフルより症状改善が約7.7時間早い 24時間以内の解熱が多く、解熱は最速
タミフル (5日間服用)	約520円	約73.6時間 (約3日)	もっとも臨床データが豊富で確実 服用開始後24～48時間で徐々に解熱
オセルタミビル (タミフル後発)	約320円	約73.6時間 (約3日)	タミフル（先発薬）と効果・スピードは全く同じ
リレンザ (5日間吸入)	約610円	約73時間前後 (約3日)	タミフルと同等の治療効果 約60%の人が24時間以内に解熱

金額・時間は目安です。いずれの薬も発症から48時間以内の開始が原則です。

新型コロナ内服薬の比較（効果・費用・副作用・禁忌）

薬剤名	3割負担の目安	主な副作用	禁忌（使えない人）	特徴・注意点
ゾコーバ （エンソトレルビル）	約14,900円	頭痛、下痢、吐き気、 HDLコレステロール低下	妊婦・妊娠の可能性がある方 12歳未満 腎障害・肝障害 併用禁忌薬が約40種類	重症化リスクがなくても 処方可能。 飲み合わせに注意が必要。
パキロビットパック （ニルマトレルビル/リト ナビル）	約29,700円	味覚異常、下痢、 高血圧、筋肉痛	重度の腎障害・肝障害 本剤成分にアレルギー歴 併用禁忌薬が約40種類	重症化リスクが高い人の入 院・死亡を約89%減らす。 飲み合わせ制限が厳しい。
ラゲブリオ （モルヌピラビル）	約26,000円	下痢、吐き気、めまい、 頭痛	妊婦・妊娠の可能性がある方 18歳未満	飲み合わせ制限がほぼないの が利点。 持病が多く多剤内服の高齢者 に適している。

いずれも薬代は高額です（3割負担で約1.5万～3万円）

高額なため、重症化リスクのない軽症患者様は内服するかどうかを要相談とさせていただきます

新型コロナ 重症度別の治療と回復期間の目安

重症度	内服の可否と主な薬剤	治療期間（内服なし）	治療期間（内服あり）
軽症 （呼吸器症状なし～軽度）	原則不要 （リスクが高い方・希望時のみ）	約7～10日 （対症療法で自然軽快）	約6～9日 （主な症状が約1日短縮）
中等症Ⅰ （息切れあり・酸素不要）	内服を推奨 （パキロビッド、ラゲブリオ）	約2週間～ （一部は中等症Ⅱへ悪化）	約7～10日 （ウイルスの増殖を抑制）
中等症Ⅱ （酸素必要）	内服では対応不可 （ベクルリー点滴）	数週間～1か月 （重症化リスクが極めて高い）	約10日～2週間 （入院・酸素投与期間を短縮）
重症 （ICU管理・人工呼吸）	内服では対応不可 （ベクルリー点滴）	命に関わるリスクが高い （数か月以上の療養）	数週間～1か月以上 （集中治療を継続）

期間はあくまで目安です。重症化リスクのある方は、発症早期のご相談をおすすめします。